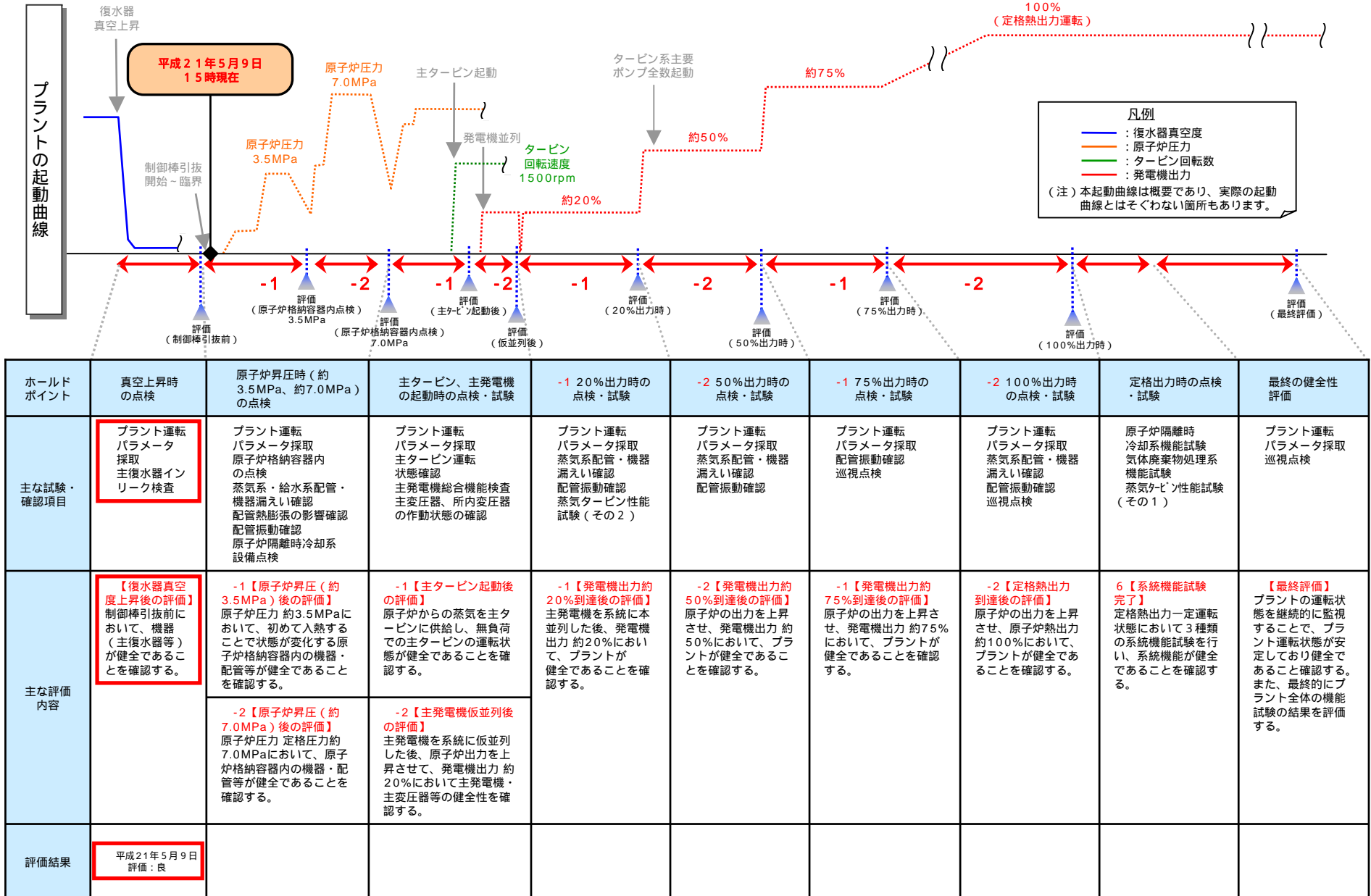


柏崎刈羽原子力発電所7号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験に係る進捗状況

別紙

平成21年5月9日
東京電力株式会社



凡例

- 地震後の健全性確認のため、特別に実施する項目
- 地震後の健全性確認のため、内容・範囲等を追加した項目
- 通常のプラント起動時にも実施している項目

□ : 前回お知らせ(平成21年5月8日)からの進捗箇所

評価結果 復水器真空度上昇後の評価

平成21年5月9日 評価完了：良

< 主な評価内容 >

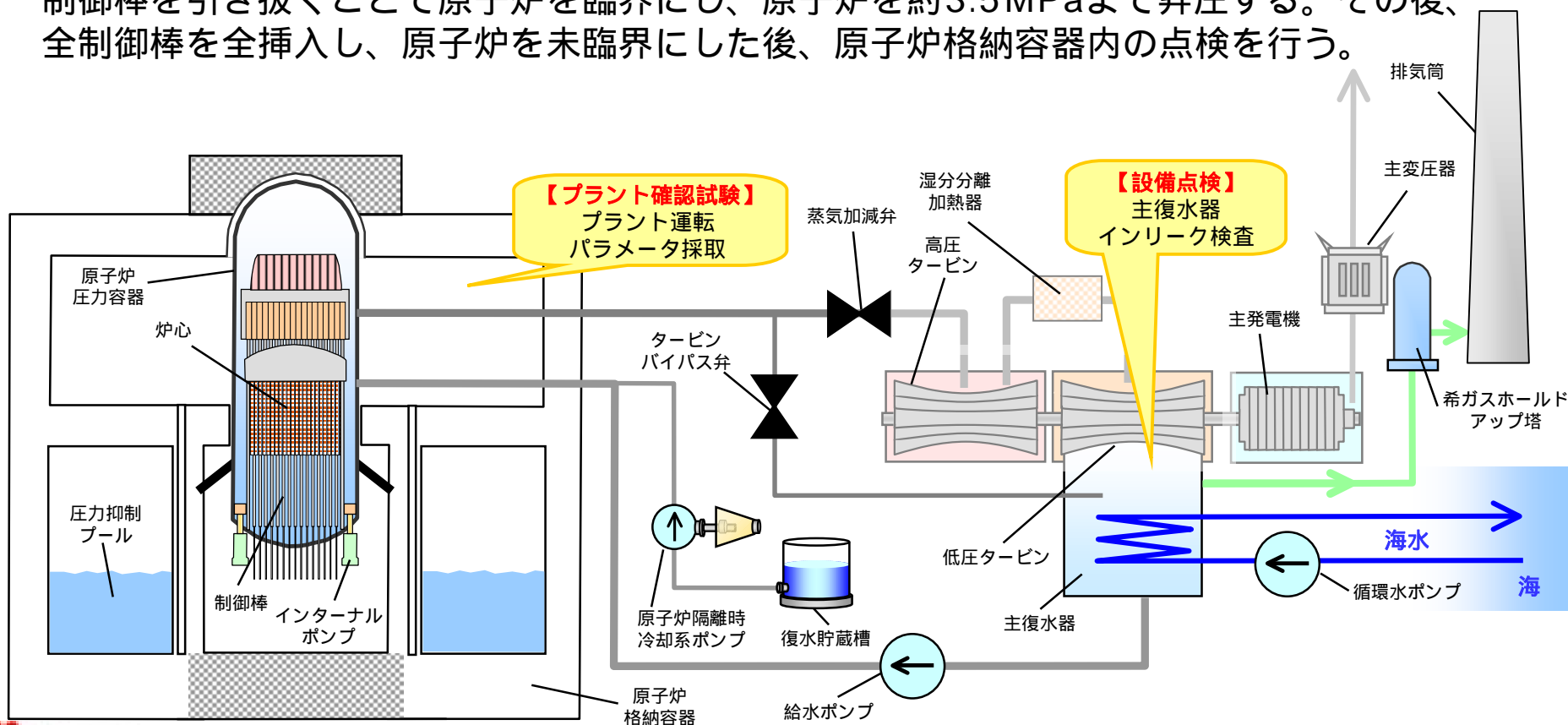
制御棒引抜前において、機器（主復水器等）が健全であることを確認する。

< 主な試験・確認項目 >

プラント運転パラメータ採取、主復水器インリーク検査等

< 次工程 >

制御棒を引き抜くことで原子炉を臨界にし、原子炉を約3.5MPaまで昇圧する。その後、全制御棒を全挿入し、原子炉を未臨界にした後、原子炉格納容器内の点検を行う。



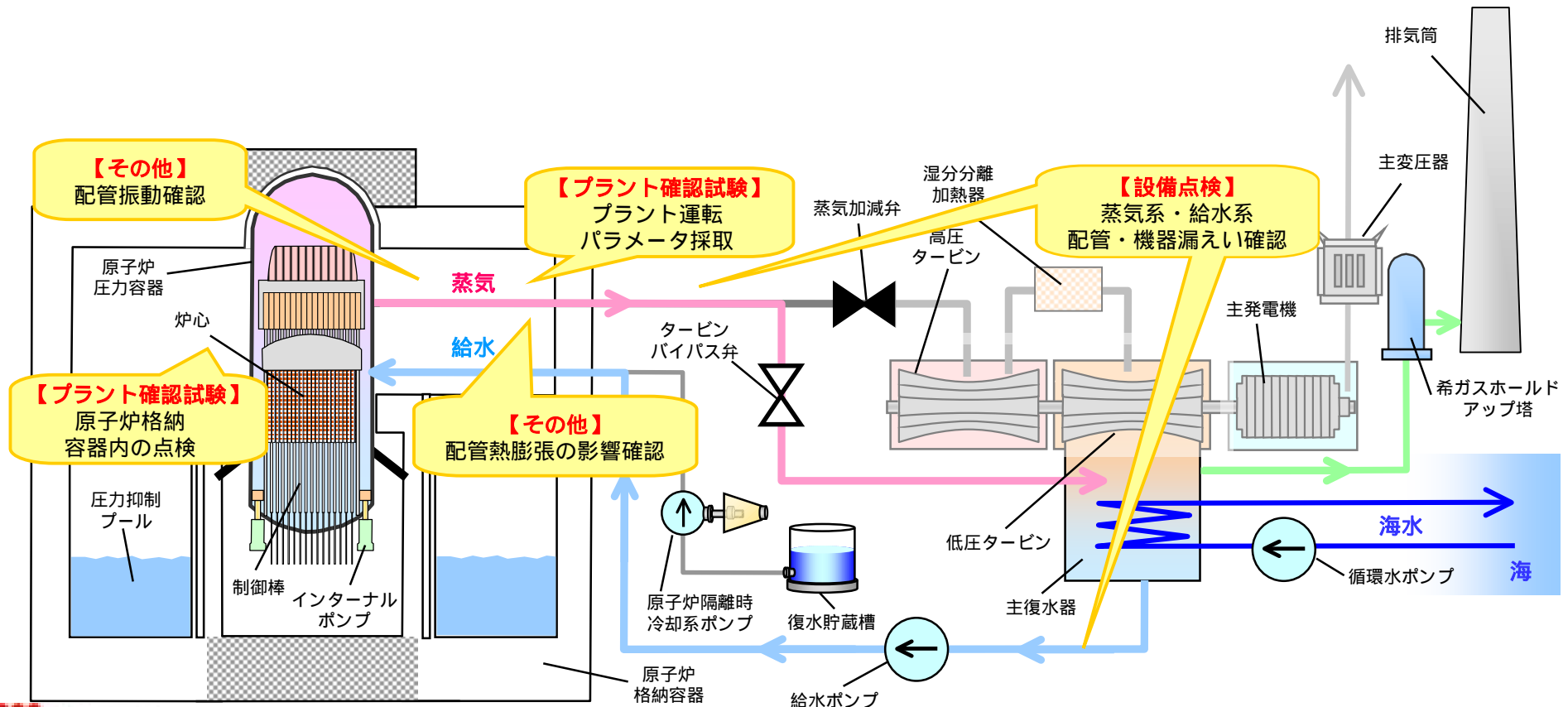
次工程 -1 原子炉昇圧（約3.5MPa）後の評価

< 主な評価内容 >

原子炉圧力 約3.5MPaにおいて、初めて入熱することで状態が変化する原子炉格納容器内の機器・配管等が健全であることを確認する。

< 主な試験・確認項目 >

プラント運転パラメータ採取、原子炉格納容器内の点検、蒸気系・給水系配管・機器漏えい確認、配管熱膨張の影響確認、配管振動確認 等



次工程 原子炉格納容器内の点検

■ 確認内容

原子炉の昇圧後 約3.5、7.0MPa において
下記点検・確認を実施し、原子炉格納容器内
の設備の健全性を確認する。

- ・ 目視点検
- ・ 漏えい確認
- ・ パラメータ採取 等

■ 異常が確認された場合の対応

フランジの増し締め等を実施する。



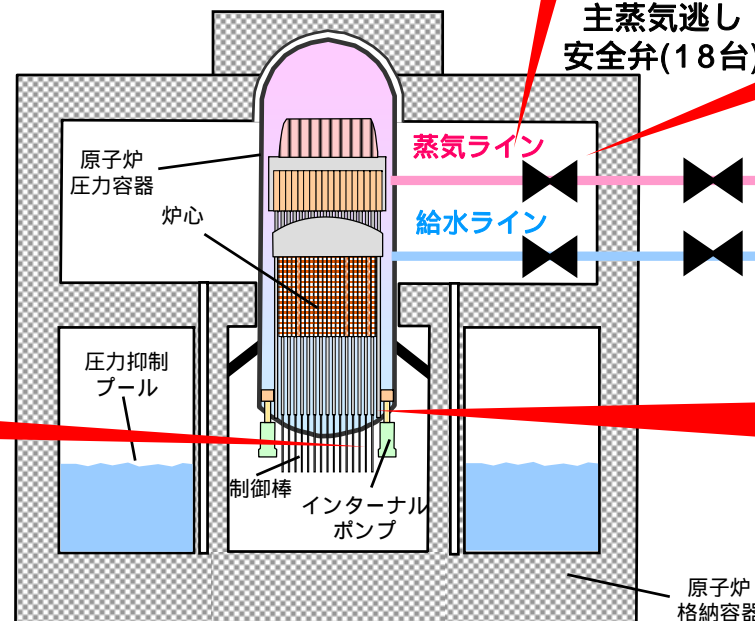
主蒸気逃し
安全弁(18台)



主蒸気隔離弁(8台)



制御棒駆動機構(205台)



インターナルポンプ
電動機(10台)

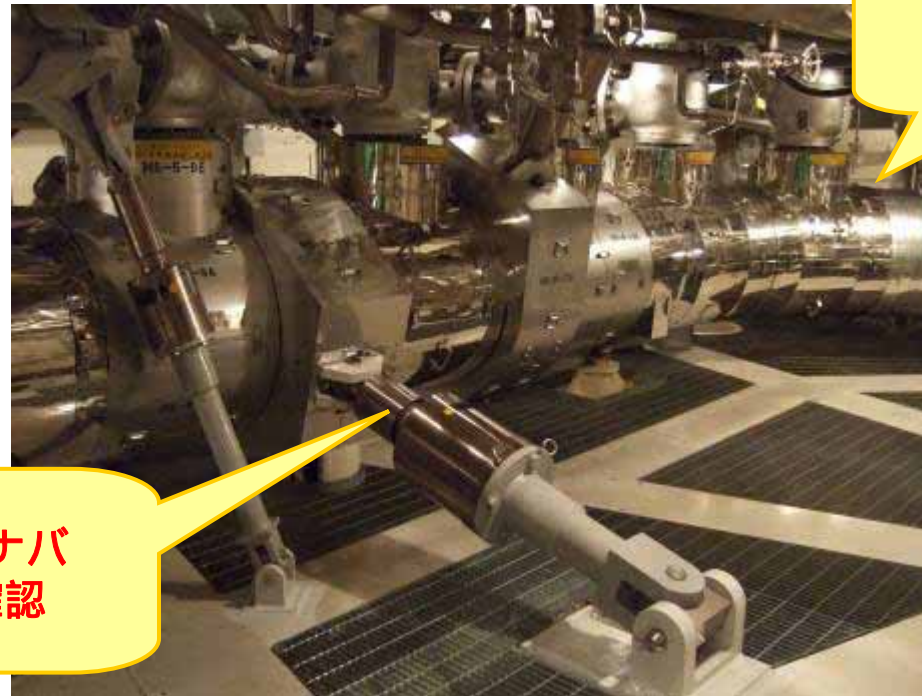
次工程 配管熱膨張の影響確認

■ 確認内容

耐震強化工事を実施した系統のうち、プラント起動時に通水（加熱）状態となる配管設備について、熱膨張による異常の有無を確認する。

■ 異常が確認された場合の対応

異常の状況およびプラントへの影響等の評価を行い、必要に応じて、影響緩和措置などを実施する。



メカニカルスナバ
の作動状況確認

配管の干渉
の有無

一例：耐震強化工事を実施した箇所
（主蒸気系配管及び主蒸気逃し安全弁）

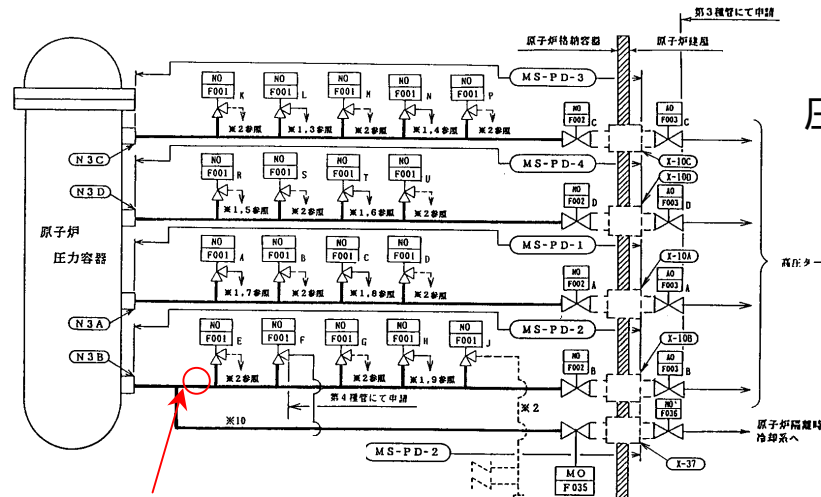
次工程 配管振動確認

■ 確認内容

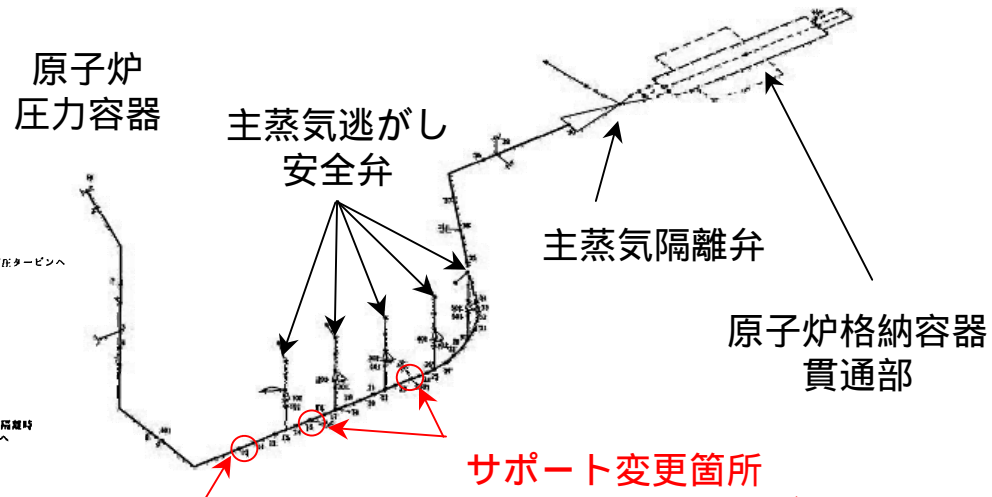
耐震強化工事を実施した系統のうち、プラント起動時に通水（加熱）状態となる配管設備について、運転時の振動が比較的大きい箇所に対し振動を測定する。

■ 異常が確認された場合の対応

異常の状況及びプラントへの影響等の評価を行い、必要に応じて、影響緩和措置などを実施する。



振動測定箇所



振動測定箇所

サポート変更箇所
(メカニカルスナバ容量増)

振動測定による確認方法（主蒸気系配管の例）